

2026年度第1回 国立遺伝学研究所
人を対象とする生命科学・医学系研究倫理審査委員会
議事要旨

日 時：5月15日(金) 13:30~14:00

会議形式：Zoomを使用したオンライン会議

審査委員：所内委員 有田委員長、岩里委員、川本委員、黒川委員

所外委員 安藤委員、黒澤委員、難波委員、渡邊委員

その他出席者：学術研究支援係

議 事：

審議事項

(1) ヒトゲノム・遺伝子解析研究実施に係る研究計画書について

資料1に基づき、以下1件について審議を行い、「保留（継続審査）」と判定した。

受付番号：nig2601（変更申請：承認番号 R7-1）

申請者：バイオデータ研究拠点 拠点長・教授 有田 正規

課題名：日本人乳癌患者シーケンスデータにおける hypomorphic 変異同定

研究責任者の有田委員長から申請内容について説明があり、続けて以下のとおり委員との質疑応答があった。

- 安藤委員から、ゲノムデータを利用する際に担保されるべきセキュリティの基準があるのか質問があった。
- 有田委員長から、セキュリティ基準を満たす環境でのみデータベースからデータをダウンロード可能であること、研究期間終了後はデータ削除を依頼し、削除を確認していることの回答があった。
加えて、JGAデータは、二重匿名化されていることの説明があった。データ取得機関において匿名化し、データ取得機関からデータベースに登録される際に再度匿名化される。
- 川本委員から、国立遺伝学研究所ではなく鹿児島大学にて秦研究員が当該研究に従事することの可否について質問があった。
- 有田委員長から、秦研究員に提案する旨の回答があった。
- 黒川委員から、秦研究員のアステラス製薬株式会社に勤務する場合、利益相反の管理上問題が生じないか質問があった。
- 有田委員長から、当該研究計画は研究責任者である有田委員長が秦研究員の経歴等を把握しているため問題無いが、外来研究員等が研究を申請した場合は注意が必要である旨の回答があった。
- 岩里委員から、国立遺伝学研究所においてメタデータだけではなくゲノムデータも取り扱うか、国立遺伝学研究所において鹿児島大学 中岡教授がゲノムデータ

を解析するのか、研究期間終了後はデータ削除を依頼する旨が研究計画書に記載されているかの確認があった。

- 有田委員長から、国立遺伝学研究所においてゲノムデータを取り扱う旨、鹿児島大学 中岡教授の解析実施場所については把握していない旨、JGA データの利用規約に記載されており、研究計画書にも記載がある旨の回答があった。
- 黒澤委員から、アステラス製薬株式会社に勤務する旨の利益相反に係る申告書が提出されているか質問があった。
- 学術研究支援係から、利益相反に関する自己申請書の提出有無を把握していない旨の回答があった。
- 有田委員長から、利益相反に関する自己申請書が提出されていない場合は、提出を依頼する旨の回答があった。
- 黒川委員から、利益相反に関する自己申請書が未提出の場合、審議結果は保留とするべきかの確認があった。
- 有田委員長から、利益相反に関する自己申請書が未提出の場合、審議結果を保留とし、当該申請書が提出され次第メール審議を行う旨の回答があった。

報告事項

(1) 多機関共同研究（遺伝研が共同研究機関）の実施許可について

有田委員長から、資料 2 に基づき、前回の会議形式の委員会以降に申請のあった以下 8 件について、迅速審査のうえ研究計画の実施許可を行った旨を報告した。

許可番号：T202405

申請者：比較ゲノム解析研究室・特任教授・豊田 敦（代表機関：東京大学）
課題名：現生人類の拡散と適応に関する集団ゲノム解析

許可番号：T202407

申請者：比較ゲノム解析研究室・特任教授・豊田 敦（代表機関：千葉県がんセンター）
課題名：子宮体がんの統合的ゲノム解析による病態解明を目指した多機関共同観察研究

許可番号：T202501

申請者：比較ゲノム解析研究室・特任教授・豊田 敦（代表機関：九州大学）
課題名：精神神経疾患患者由来 iN 神経・iM グリアの作成、及び、それらを用いた解析による疾患の病態治療機序解明に関する国際共同研究

許可番号：T202503

申請者：ゲノム多様性研究室・准教授・森 宙史（代表機関：千葉大学）
課題名：ウェルナー症候群患者由来 iPS 細胞の樹立とこれを用いた新規治療法開発およびウェルナー症候群患者検体を用いた老化メカニズムの探索

許可番号：T202504

申請者：ゲノム進化研究室・教授・黒川 顕（代表機関：早稲田大学）

課題名：最適化した常在微生物叢 DNA 抽出法の開発

許可番号：T202601

申請者：統合研究コア 先端ゲノミクス推進部門・准教授・森 宙史（代表機関：千葉大学）

課題名：ロングリード次世代シーケンサーを用いた髄液リキッドバイオプシーの確立と臨床応用

許可番号：T202602

申請者：統合研究コア 先端ゲノミクス推進部門・准教授・森 宙史（代表機関：国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所）

課題名：腸内マイクロバイオームの機能的メタゲノム解析

許可番号：T202603

申請者：バイオデータ研究拠点 ライフサイエンス統合データベース部門・特任准教授・藤原 豊史（代表機関：昭和医科大学）

課題名：脳形成障害の原因解明と治療法開発

(2) 組織改編に伴う研究計画変更申請書の提出について

有田委員長から、資料 3 に基づき、国立遺伝学研究所の組織改編に伴い、機関名、部局名、職名等の軽微な変更を行った旨を報告した。

承認番号：R8-1

申請者：バイオデータ研究拠点 ライフサイエンス統合データベース部門・教授・五斗進

課題名：NBDC ヒトデータベース群（ヒトデータを共有するためのプラットフォーム）の運用

承認番号：R8-2

申請者：バイオデータ研究拠点・教授・有田 正規

課題名：生命情報・DDBJ センター ヒトデータに関するデータベース群の運用について

許可番号：T202601

申請者：統合研究コア 先端ゲノミクス推進部門・准教授・森 宙史（代表機関：千葉大学）

課題名：ロングリード次世代シーケンサーを用いた髄液リキッドバイオプシーの確立と臨床応用

許可番号：T202602

申請者：統合研究コア 先端ゲノミクス推進部門・准教授・森 宙史（代表機関：国立
研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所）

課題名：腸内マイクロバイオームの機能的メタゲノム解析

許可番号：T202603

申請者：バイオデータ研究拠点 ライフサイエンス統合データベース部門・特任准教
授・藤原 豊史（代表機関：昭和医科大学）

課題名：脳形成障害の原因解明と治療法開発

以 上